

目 次

I. 総括研究報告書

食品を介したダイオキシン類等有害物質摂取量の評価とその手法開発のための研究 . . . 1

堤 智昭

II. 分担研究報告書

(1) 食品に含まれる残留性有機汚染物質等の摂取量推定及び汚染実態の把握に関する研究

堤 智昭

(1-1) トータルダイエツト試料の分析による塩素化ダイオキシン類摂取量推定 27

(1-2) トータルダイエツト試料の分析による PCBs 摂取量推定 40

(1-3) トータルダイエツト試料を分析するための有機フッ素化合物分析法の検討 . . . 54

(1-4) 乳幼児の一食分試料の作製 85

(2) 食品に含まれる有害元素等の摂取量推定及び汚染実態の把握に関する研究 . . . 91

鈴木美成

(3) 有害物質の摂取量推定に必要な分析法の開発に関する研究

堤 智昭

(3-1) GC-MS/MS を用いた食品中のダイオキシン類分析の検討 132

(3-2) LC-MS/MS による食品中のベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤の分析法の検討 . . . 161

(3-3) 食品中のリン酸エステル系難燃剤の分析法の検討 199

(4) 母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児の発達への影響に関する研究 . . . 263

鹿嶋 晃平

(5) 国際動向を踏まえた摂取量推定すべき有害物質の調査に関する研究 270

畝山智香子

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表 291